

No. 92
2017.8.1

宇治田原町 議会だより



《目次》

定例会・臨時会・表決結果.....	2~4P
委員会報告.....	5P
一般質問.....	6~16P
インタビュー(山本 理文さん).....	17P

保育所の屋上プールで

6月定例会

町営バス運行開始

平成29年第2回定例会は、6月8日から22日まで開催した。予算関係1件(補正予算)、条例関係3件(改正3件)、人事案件14件・報告3件が提出され、いずれも原案通り可決・同意した。また、請願2件が提出され、うち1件を採択した。一般質問には、10人の議員がたち、活発な議論を展開した。

人事案件

○農業委員会委員の任命に同意

- 上田 明男氏(郷之口)
- 森田 市治氏(立川)
- 西野 仁氏(禪定寺)
- 辻橋 嘉治氏(南)
- 橋本 茂氏(立川)
- 辻 俊夫氏(奥山田)
- 浅田 豊春氏(奥山田)
- 垣内 英材氏(南)
- 光島 莊次氏(荒木)
- 山中 茂治氏(立川)
- 山岡 清一氏(南)
- 田川 俊司氏(南)
- 永井 保氏(岩山)
- 藤田 利治氏(湯屋谷)

任期
平成29年7月20日～平成32年7月19日

新庁舎建設に請願・議論

請願第1号

宇治田原町新
庁舎建設予定
地に関する請
願書

新庁舎建設予定地は、国道307号から遠く離れ、坂道が続くなど、大変行きにくい

場所となっている。住民の声を十分反映し、住民が納得したうえで決定すべき。議員の皆様は、住民の代表として1000人を超える署名や、説明会等でお出された住民の声をしっかりと受け止め、請願項目にご賛同を願いたい。

①建設予定地について、再検討してください。
②建設地について広く住民の声を聞くために、地区ごとに丁寧な説明会を開いてください。

反対

藤本英樹議員

平成28年9月議会で建設予定地を報告され、プレス発表や都市計画マスタープランのパブリックコメントなどで情報提供を行い、また、最大の判断の機会として、町長選挙公約として住民に非常に分かりやすい判断を委ねられている。

新庁舎説明会でも、町長自らが出席し、先頭に立って説明責任を果たすべく努力され、十分に説明責任は果たされていると認識しており、「宇治田原町新庁舎建設予定地に関する請願書」について反対する。

討論

賛成

今西久美子議員

本年3月議会で「建設予定地の再検討を視野に入れた住民説明会の開催」を求めた決議は否決されたが、その後に町の説明会がもたれ、多くの住民から疑問や反対意見があった。請願人は1000人を超える再検討を求める要望署名を背景に、気持ちを伝えたいとの思いで請願されたもの。議会として「二度決めたら、それに反する意見は聞かない」「自分の考えと違う意見は排除する」ということではなく、立ち止まって再考願いたい。

福祉バスが町営バスに 8月1日から誰もが利用できる

予算特別委員会

一般会計補正予算

問 公共交通利用推進事

業における啓発グッズの製作やバス停サインの設置については、地域公共交通検討委員会において、利用者制限の廃止や情報提供による利用促進など5項目が掲げられた中の一部として実施されるが、有料化の検討や新庁舎へのアクセスの確保の検討などは継続しているのか。

答 昨年度の検討委員会

では、3月の提言を1つの区切りとし、今後は法定に基づく地域公共交通会議を設置し、具体的なルート変更、有料化などの検討をしていく。

問 QRコードを読み取

れば時刻表を見ることが

できるとのことである

が、高齢者などQRコードについて、使い方がわからない方も多々おられると思う。周知の方法をどう考えているのか。

答 8月から町営バスに

改正する。それに併せて、町の広報紙にバス停の位置の記したものと、両面でバスの時刻表の記した用紙を折り込み、全戸に配布したいと考えている。



請願第2号

新庁舎の早期実現を求め る請願書

新庁舎建設位置は、第5次まちづくり総合計画や庁舎建設委員会、議会の提言に沿っ

ている。新名神高速道路や宇治田原山手線の開通を見据えたまちづくりに合致しており、将来に夢のある宇治田原町の実現のためにも請願事項にご賛同をお願いしたい。

の不安を払しょくするため早期の新庁舎整備を求める。
② 私たち住民にとってシンボルの新庁舎整備は、喫緊の課題であり町が示す方針通りの整備を求める。

賛成

山内実貴子議員

討論

請願については、総務建設常任委員会に付託され、白熱した議論が交わされた。
この日の傍聴は、17名の方が来庁され、初めての抽選となり、新庁舎建設問題に対する住民の方々の関心の高さが伺われた。

住民の拠り所となる役場庁舎の危機管理面での不安の払しょく、町の示す方針でのまちづくりの拠点・住民のシンボルとなる新庁舎の整備を早期にといった請願は、商工業関係者は勿論のこと、オール宇治田原で建設予定地に新庁舎建設を進め、新庁舎が起点となり住民・行政サービスの向上はもとより、新市街地の整備を促進し、町全体の防災機能の向上と活気あふれるまちづくりを早期に進めて欲しいとの願いに賛同する。

定例会

5月臨時会

平成29年第1回臨時会は5月17・18日の両日で開催した。予算関係1件(補正予算)、条例関係2件(専決)が提出され、いずれも原案通り可決・承認した。

予算特別委員会

国保会計補正予算

問 保険給付費について、平成26年度から比べてもかなり増加している。本町ではどういう病気が多く、どうすれば病気を回避できるのか、また予防できるのか、きちんと分析をすべきだ。その上で対策していくことが医療費抑制、住民の健康を守ることに繋がるのでは。



答 今後も分析を行い、それに基づき、保健事業において、取り組みたいと考えている。

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口重	松本	垣内	馬場	浅田	原田	山本	藤本	山内	今西	谷口整
5月臨時会	予算 議案第28号	国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例改正 議案第29号	宇治田原町税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について			承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第30号	宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について			承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会	人事 議案第35号～第48号	農業委員会委員の任命について			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願	請願第1号	宇治田原町新庁舎建設予定地に関する請願書	✓	✓	不採択	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●
		請願第2号	新庁舎の早期実現を求める請願書	✓		採択	○	○	○	●	○	○	●	○	○	●
	予算 議案第31号	一般会計補正予算(第1号)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例改正	議案第32号	宇治田原町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号		宇治田原町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号		宇治田原町税条例の一部を改正する条例を制定するについて			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

文教厚生常任委員会

意見交換会

5月19日、子育て支援

センターのお出かけ広

場、みんなの家でのヨモ

ギ団子づくりに参加させ

ていただき、一緒に団子

づくりを楽しみました。

最後に時間を頂き、子育

て真つ最中のお母さま方

と意見交換会を行いました。

お母さま方からのご意見

♥地元地域でもお祭りを

やってほしい。

♥今日のようなヨモギ団

子づくりなど、食育広場

が年に何回かあるが、こ

ういう自分でできる機会

が増えるといい。

♥広くて大きい、芝生が

広がっているような公園

がほしい。

る日が増え

てほしい。

♥公園や道

に落ちてい

る猫の糞な

ど、衛生面

でも気にな

るので改善

できればと思う。

委員からの問いかけ

♥自然がいつ

ばいあるの

で、動物と触

れ合える施設

があったらいい。

♥例えば移

動動物園な

意

♥支援セン

ターの開設は

うれしい。土

曜日も開いて

*救急ハンドブックの

活用は。♥携帯で調べる

ほうが早い、#8000

の利用もある。

*宇治田原をPRする

とすれば。♥満1歳まで

の子におむつ代など2万

円支給があり助かる。♥

保育園や支援センターも

相談に乗ってもらいやす

い雰囲気。子育てしや

すい環境になってきた。

♥近所のおじさんおばさ

んにも子どもを見てもら

える。♥挨拶し合える、

声をかけてもらえるのが

いい。♥医療費補助(中

学卒業まで)があつて助

かる。

*お聞かせいただいた

た、ご意見・ご要望につ

いては、できる限り伝

え、町政に反映させてい

ただくよう要望してい



みんなで団子づくり

広報編集委員会

視察研修

5月18日、広報議会だ

より作成についての研修

会を行いました。

(有)新進堂印刷所か

ら講師を招き、「原稿構

成及び入稿方法につい

て」の講議を受け、レイ

アウトの仕方や、構成・

入稿の方法などどのよう

に行うのかを研修しまし

た。その後、新進堂印刷

所で施設見学を実施し、

入稿後の原板作りや実際

の印刷作業、本やパンフ

レット作りなどを見学

し、パソコン画面でのレ

イアウトや構成の仕方な

どの説明を聞くととも

に、全般を通じて質疑応

答時間を設け、編集等の

知識を習得しました。

今後の議会だよりを活

かしてまいります。



新進堂印刷所にて

一般質問

ズバリ! 町政を問う

6月13日,14日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	質問事項
1	藤本英樹	1. 新庁舎建設事業の推進
2	山本 精	1. 宇治田原町の自然を守る対策について 2. 新庁舎について
3	山内実貴子	1. 防災対策について 2. 熱中症対策について 3. 新庁舎建設について
4	今西久美子	1. 新庁舎について 2. 防災対策について 3. 農業振興について 4. 教員の多忙化について
5	松本健治	1. やすらぎの道の整備について 2. 有害鳥獣対策について 3. 防災(豪雨)対策について

	質問者	質問事項
6	谷口 整	1. 町営バスの有効活用について 2. 有害鳥獣対策について 3. 国道307号奥山田バイパス進捗状況について
7	浅田晃弘	1. 防災について 2. ふれあい交流拠点について
8	垣内秋弘	1. シビックゾーンの開発について 2. 人口減少対策について 3. 雨量計の設置について
9	原田周一	1. 環境問題について 2. 在宅医療廃棄物について
10	馬場 哉	1. 小中一貫教育について

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

新庁舎建設事業の推進は

【答】山手線と南北線の北東角地で推進



藤本英樹
議員

【質問】

凍結されていた新名神
高速道路事業が解除さ
れ、新庁舎建設事業は庁
舎検討特別委員会と、町

とで質疑が繰り返される
中、本会議の一般質問で
も多くの議員が質問され
るなど議論が交わされて
きた。

町長は「宇治田原まち
づくり総合計画審議会」
の答申を受け、シビック
交流拠点内への移転を示
し、議会でも可決された。

更に、「宇治田原山手
線と南北線の北東角地が
適地である」と議会報告
され、パブリックコメン
トで住民の意見を尊重

し、併せて2月の町長選
挙公約として住民に是非
を問う形で2戦目に出馬
された経過がある。

このことにより、住民
の方々には十分説明責任
を果たし、責任を持って
やり遂げる決意を示した
ものであり、選挙は結果
的には無投票であった

が、住民の信任は得られ
たものと確信しているこ
ろである。

4月28日・29日に開催
された新庁舎建設事業説
明会では、宇治田原町の
将来がどのようになって
いくのか、自分たちの生
活がどのように変わるの
かなど様々な疑問や意見

が出てきたが、「新名神
高速道路を活かしたまち
づくり」こそが将来の宇
治田原町を左右するもの
であり、住民に希望と未

来を描ける取り組みを
行ってもらいたい。

当然に、住民のことを
第一に考えての新庁舎建
設位置であり、町長は新
庁舎建設予定地につい
て、どのように考えてい
るのか再度確認するもの
である。

【答弁(町長)】
新名神高速道路、城陽
〜八幡京田辺間が4月30
日に開通し、宇治田原山
手線の整備は、多くの署
名、住民会議の方々の熱

い思い、新市街地の整
備、新庁舎建設予定地な
どを含め、京都府が総合
的に評価された結果であ
ると認識している。

宇治田原町のこれから
のまちづくりに、宇治田
原山手線は欠かすことの
できない道路で、京都府
も必要であると理解いた
だき支援をいただくこと
になったと認識してい
る。

また、新庁舎の建設に
ついて、揺らぐことな
く計画を進めていかなか
くはならない。

長期的なビジョンとし
ては、人口1万人を目指
し、明るい未来ある宇治

田原町をつくることであ
る。新名神高速道路事業
や宇治田原山手線は本町
の基幹をなすインフラ整
備であり、これらを短・中
期的ビジョンとして位置
付け、都市計画道路、新
市街地の整備や新庁舎建
設事業とも一体化し、長
期ビジョンである定住・
移住施策に繋げて行きた
いと感じている。

こうした思いからも、
未来への設計図である
「第5次まちづくり総合
計画」に基づき、将来に
渡って宇治田原町に責任
が持てるよう新庁舎建設
予定地については、「宇治
田原山手線と南北線の北
東角地」以外にないと判
断し、最後には「良かつ
た」と安心していただけ
るよう努めていく。



御林山方面から建設予定地を望む

自然を守る対策をどう考えるか

【答】自然環境の保全と開発の調和をめざす



山本 精
議員

【質問】

最近、宇治田原町ではこれまでの山砂利採取やその跡地へのソーラパネルの設置、資材置き場と称した山の掘削、道路建設などで、里山がどんどん削られている。

「私は宇治田原の自然に魅かれて市内から来た。近頃自然が無くなるのかと思う位に様子が変わってきたように思われて残念。」「昔の自然の風景がなくなりさびしい。」と

「私は宇治田原の自然に魅かれて市内から来た。近頃自然が無くなるのかと思う位に様子が変わってきたように思われて残念。」「昔の自然の風景がなくなりさびしい。」と

「私は宇治田原の自然に魅かれて市内から来た。近頃自然が無くなるのかと思う位に様子が変わってきたように思われて残念。」「昔の自然の風景がなくなりさびしい。」と

「私は宇治田原の自然に魅かれて市内から来た。近頃自然が無くなるのかと思う位に様子が変わってきたように思われて残念。」「昔の自然の風景がなくなりさびしい。」と



自然の中のソーラーパネル

住民説明会を各地域で 【答】再度の説明会は考えていない

【質問】

4月末に実施された新庁舎建設事業説明会で出された住民の意見は、疑問や反対が大半だった。新庁舎建設予定地は国道307号から遠く離れ、

坂道が続き高齢者や障害のある方には大変行きにくい場所となっている。「弱者の視点があるのか疑問、防災面について、何故砂利採取跡の埋め立て地に建てるのか、複合

坂道が続き高齢者や障害のある方には大変行きにくい場所となっている。「弱者の視点があるのか疑問、防災面について、何故砂利採取跡の埋め立て地に建てるのか、複合



町道南北線

緑豊かな自然環境は、本庁の財産の一つであり、住民のみならず訪れる人々にも癒しを与えており、豊かな自然環境の保全と開発の調和こそ本町がめざす町づくりであると考えている。

災害を想定する必要があるのでは、いつ、だれが、どこで決めたのか、その過程が住民に知らされず、町は説明責任を果たしていない」といった厳しい意見が出された。町側の回答に納得されていない。説明会で回答していたように住民の意見を聞く場を設けるとい

ことに間違いはないか。【答弁(副町長)】4月の説明会で説明できたものと認識しております、再度の説明会開催は考えていないが、疑問やご意見があれば答えていき、内容によっては訪問する。

現庁舎での災害時の避難誘導は

【答】速やかな避難誘導が必要、訓練も検討



山内実貴子
議員

【質問】

弾道ミサイルの発射など、近年の世界状況に合わせた防災訓練についてどう考えるか。

【答弁(総務課長)】

情報として「弾道ミサイル落下時の行動について」をホームページに掲載。今後、防災訓練等の機会を通じ周知を図りたい。

【質問】

避難所運営ゲーム HUG(ハグ)の活用や

防災についての研修は、

【答弁(総務課長)】

区長会等と協議する中

で、HUGも含め、防災

研修を進めていきたい。

【質問】

現庁舎で大地震や大水害が起こった場合、どのように来庁者を避難誘導させるのか。

【答弁(総務課長)】

来庁者を速やかに避難誘導する必要がある。今後、自然災害も視野に入れた訓練について検討していく。

学校での熱中症対策は

【答】水分補給促進、意識啓発も行う

【質問】

小中学校での熱中症対策について、水分補給などの環境整備が必要。その対応は。

【答弁(教育部長)】

水分補給の促進、エアコンによる室内温度調整を行っている。中学校で

は講習会を開催し、熱中症への意識啓発により安全な学校生活が送れるよう取り組んでいる。

【質問】

子ども達から高齢の方までいろいろな方が訪れる総合文化センターでの熱中症対策は。

【答弁(社会教育課長)】

冷房や風通しがよくなるよう換気をするなどの管理を行っている。高ぶき大学7月講座で「高

齢者の栄養の基礎・水分補給」の講座を開催。声かけをはじめ、みんな

注意する環境をつくっていききたい。



給水補給を(小学校のお茶飲み場)

新庁舎建設、今後、意見聞く機会を

【答】基本設計進め意見聞く場設ける

【質問】

新庁舎建設について反対意見が独り歩きをしている。住民の皆さんのため、全力を挙げ新庁舎建設に取り組み、今後、地域ごとに違ってくる課題や意見を聞く機会を。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

住民の方々の意見を聞き、新庁舎建設に関わりを持つってもらうことは非常に重要と認識する。今後、基本設計を進める中、住民の方々の意見を聞く場の持ち方について検討する。



現庁舎での避難誘導は…

新庁舎建設予定地は「ありき」では

【答】「ありき」との指摘はあたらない



今西久美子
議員

【質問】

庁舎建設委員会では建設位置をどこにするかについては議論されておらず、町が意見具申の内容を提示して了承を得ただけ。昨年9月の同委員会でも、1か所だけが◎、

3か所が△の候補地が示された。これでは議論の余地はなく、初めから「ありき」ではなかったか。

【答弁(副町長)】

国道307号沿いか新都市創造ゾーン周辺にとの事務局案に対し、委員

から活発な質疑、意見をいただいた。初めからありきという指摘は当たらない。

【質問】

新庁舎説明会で住民の方が「国道307号沿いの候補地1に建設を」と主張された。敷地は現在の3倍、

住民の利便性は格段に向
上する。今一度、検討を。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

建設予定地は、様々な視点で総合的に判断した結果であり、現在の予定地で進める。

【質問】

説明会終了後も住民は

意見をいただ

きという指摘は

【質問】

災害時、支援を要する人の人数、平常時の名簿提供、要支援者の支援計画の進捗は。

【答弁(総務課長)】

避難行動要支援者は1

納得していない。このまま住民の反対の声を押し切り、住民に向き合わないのか。

【答弁(町長)】

総合的に将来の宇治田原町を考えると、現予定地に決定した。再検討は考えていない。

災害時、支援を要する人の対応策を 【答】早期に名簿完成、個別計画を作る

【質問】

38名であり、平常時の名簿提供への同意は91名。今後、早期に名簿を完成し、避難支援等関係者と共有する中で、具体的な支援の個別計画を作成していく。

耕作放棄地への対策を 【答】市民農園の活用等、検討している



耕作放棄地の活用を

【質問】

宇治田原町の耕作放棄地の推移は。

【答弁(産業観光課長)】

平成28年度、33・7ha(3.6%)で、ここ数年微増傾向にある。

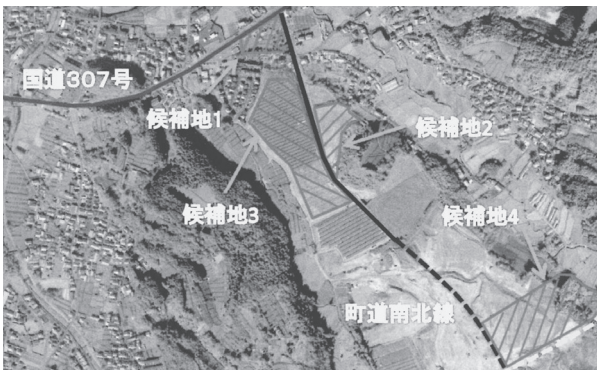
【質問】

耕作放棄地対策は。
【答弁(産業観光課長)】
集落内では市民農園に

よる活用を、集落外では地域の担い手による貸借など、関係機関と話し合いの場を設けていく。

【質問】

農業機械は高額。農林業振興事業費補助金を買い替える際にも対象に。
【答弁(産業観光課長)】
関係者の意見等を参考に検討する。



やすらぎの道の整備を

【答】全路線を点検し計画的に補修

【質問】

ふるさと創生事業で整備された「やすらぎの道」も、30年近くが経過し、破損箇所が目立ち危険な箇所もある。早急に総点検を実施し、全体的

な補修の計画・実施を。

【答弁(建設環境課長)】

「やすらぎの道」は、

住民の健康増進にも必要性、重要性の価値あるものと認識しており、住民に親しんでもらいたい



住民が親しむ「やすらぎの道」の整備を



松本 健治
議員

いう当時の思いからも安全に利用できるよう、全

路線の点検を実施し、計画的に補修を考えたい。

防災対策で近助の取り組みを 【答】「近助」の精神を生かす

【質問】

これから豪雨災害のシーズンとなる。各地区

り入れ、防災訓練の指導にも生かしたい。

での防災訓練でも、さらに地域防災力を高めるため、小規模・小集団での避難訓練など「近助」の活動支援・指導を。

【質問】

【答弁(総務課長)】

防災対策では住民の「生命」を守ることが第一である。いかに早く的確な情報伝達をするかが重要となる。新庁舎の関連も含め本町の情報伝達システムの計画は。

自主防災会の主体性も配慮し、地域を一番よく知る向こう三軒両隣。近所の人、近所の人を助ける「近助」の精神を取

【答弁(副町長)】

防災拠点でもある新庁舎建設も含め、本町に最も適した情報伝達システム

【質問】

南米産の大きなねずみヌートリアが、田原川などに増えている。繁殖を続けると、作る巣穴で堤防に強度面の問題が出る

【答弁(産業観光課長)】

特定外来生物に指定されており、繁殖力が強い。今後圃場に栽培される野菜などにも被害が懸念されるため、生息が拡大する前に猟友会と捕獲を検討実施する。

【質問】

田原川に増えるヌートリア対策を 【答】早い段階で捕獲実施へ

【質問】

【答弁(産業観光課長)】

特定外来生物に指定されており、繁殖力が強い。今後圃場に栽培される野菜などにも被害が懸念されるため、生息が拡大する前に猟友会と捕獲を検討実施する。

【質問】

【答弁(産業観光課長)】



防災訓練に「近助」の精神を

ム構築に向け、随時検討を加え進めたい。

休日の町営バス有効活用を

【答】観光地を巡る町営バスを試行的に運行

【質問】

奥山田・湯屋谷への観光客増加に伴い、コミュニケーションバスに乗りきれない状況が発生している。休日運休の町営バスを有効活用できないか。

【答弁(町長)】

奥山田・湯屋谷への観光シーズンに向け、休日には奥山田・湯屋谷方面等の観光地を巡る町営バスの、試行的運行を実施できればと考える。



福祉バスが町営バスに

実効性のある有害獣対策を 【答】モンキードッグの導入等前向きに検討

【質問】

有害獣の推定生息数に基づき適正な駆除計画立案と、犬の放し飼い特区・モンキードッグ等による有害獣が近づけない対策を。

【質問】

有害獣の増加に伴い鹿等が媒介するヒルの被害が人里に及んできている。被害が町全域に拡大する前に生息調査と駆除対策を。



谷口 整 議員

【答弁(産業観光課長)】

今後は府の有害獣推計数字を基に駆除を進めたい。犬の放し飼い特区申請やモンキードッグ等についても、関係機関と協議のうえ長野県等の先進事例を検証し前向きに検討したい。

【答弁(産業観光課長)】

運搬役の有害獣対策と密接に関連しており、有害獣の捕獲と、人里に近づけないことも重要であると考えている。ヒルの生息調査及び効果的な駆除を、専門家と相談し検討したい。

奥山田バイパスの早期完成を 【答】一日も早い供用開始に向け強く要望

【質問】

奥山田バイパスの完成時期は当初平成25年と聞いていたが、年々延期されてきた。大幅に遅れている理由は何か。いつになれば完成すると聞いているのか。また、どのような要望や対応をされているのか。

【答弁(町長)】

想定以上に固い岩盤の掘削や処理に時間を要したと聞いており、完成は来年度以降と聞いている。先般の府事業箇所決定後も府庁に出向き、一日でも早い供用開始に向け要望しており、これからも強く要望する。



早期完成が望まれる奥山田バイパス

現庁舎は防災拠点として不適格

【答】新庁舎と防災公園を早期に整備



浅田晃弘
議員

【質問】

内閣府は、災害時に行政自らが被災し、資源制約が伴う条件下においても優先的に実施すべき業務を特定し、業務の執行体制や業務継続に必要な資源の確保等をあらかじめ

め定める業務継続計画の策定促進を図っているが、本町の取り組みはどのようになっているのか。

【答弁(総務部長)】

業務継続計画は、本町地域防災計画を補充し、

行政自らが被災したときに非常時優先業務を適切かつ迅速に実施できるようにするためのものであることから、本町に合った業務継続計画を早急に検討し策定していく。

【質問】

現庁舎は耐震対策ができておらず、また田原川浸水想定区域内にあり、住民を守る防災拠点としては不適格である。庁舎自らが被災するということを避けるためにも早期に新庁舎の建設が必要であり、万が一の被災時には、避難生活等が確保できる大規模防災公園が必要と考えるが。

平成24年、25年と相次ぐ集中豪雨による甚大な災害被害や南海トラフ沿いでの巨大地震の発生予測を受け、住民の方々の拠り所となる庁舎が被災しないように庁舎建設を決意した。防災機能を有した都市公園については、子供の遊び場、三世代の交流の場、子育て世代の交流の場としての機能を持ち、災害時には避難地・救護活動の拠点となる庁舎と併設することにより防災力の向上と災害に強いまちづくりを推進できると判断し、新庁舎と都市公園を一体のものとして、防災拠点となる新庁舎面積を確保できることを条件に適地を決定してきている。

総合文化センターにふれあいコーナーを【答】実現可能な形を検討する



総合文化センター ロビー

【質問】

総合文化センターにゆつくりくつろげる場所がない。おもてなしふれあいコーナーの設置を望む。

【質問】

新茶時期に町長が来庁される方々に新茶で接待しているが教育長は。【答弁(教育長)】私も総合文化センターにおいて、新茶接待をしていきたい。

【答弁(社会教育課長)】

実現が可能な形を検討していく。

現庁舎は耐震対策ができておらず、また田原川浸水想定区域内にあり、住民を守る防災拠点としては不適格である。庁舎自らが被災するということを避けるためにも早期に新庁舎の建設が必要であり、万が一の被災時には、避難生活等が確保できる大規模防災公園が必要と考えるが。

行政自らが被災したときに非常時優先業務を適切かつ迅速に実施できるようにするためのものであることから、本町に合った業務継続計画を早急に検討し策定していく。

総合文化センターにゆつくりくつろげる場所がない。おもてなしふれあいコーナーの設置を望む。

新茶時期に町長が来庁される方々に新茶で接待しているが教育長は。【答弁(教育長)】私も総合文化センターにおいて、新茶接待をしていきたい。



平成 25 年台風 18 号田原川の氾濫

新市街地開発の治水及び河川対策は

【答】調整池の設置、河川改修、補強の検討実施



垣内秋弘
議員

【質問】

シビックゾーンの南部において新庁舎をはじめ開発に伴う雨水・治水対策が必要だが対応策は。

【答弁(建設環境課長)】

治水対策は下流域の安全のため重要課題と認識

【質問】

「災害からの安全な京都づくり条例」が施行される予定である。重要開発調整池の設置が義務付けられる。新庁舎建設予定地は調整池の設置も含め検討中である。

【質問】

災害に強い庁舎が完成しても下流域住民の安全・安心が担保できなければ大変困る。袋谷川及び糠塚川は底が浅いうえ護岸工事が不十分である。賛田谷川も併せて河川改修・補強も必要である。今後の対応策は。

【答弁(建設環境課長)】

町管理の袋谷川・賛田谷川及び府管理の糠塚川の流下能力は未改修河川でもあり現状能力に不安があるため、町管理河川は改修、補強の検討を行っている。府管理河川も短期的・中長期的な対応を検討要望していく。

人口減少対策に本腰を

【答】まちづくり戦略を推進し達成させたい

【質問】

平成52年に本町の人口を1万人にするためには自然動態を加味すれば毎年105人増加させる必要がある。その為の具体

的な施策として①婚活支

援②子育て支援③教育支援④雇用・起業支援⑤移住支援等の更なる向上が不可欠である。とりわけ若者の結婚を助成し、出

生率の向上が要。結婚祝い金等の検討も必要だ。

【答弁(町長)】

人口減少対策は喫緊の重要課題であり、最重要三本柱、まちづくり戦略を

来人口達成に向け取り組む。結婚祝い金も有効な手段であるが、予算化している各種事業の推進に努め効果検証を踏まえ取り組む。

を着実に推進する中で将

新庁舎に雨量計の設置を

【答】新庁舎に雨量計の設置を検討



雨量計

【質問】

集中的に発生するゲリラ豪雨に対し、防災管理拠点となる新庁舎に雨量計の設置が必要だ。

【答弁(総務課長)】

府内の雨量計は一定間隔に数量を設置済みのため、町として新庁舎に雨量計を設置したい。



川底の浅い糠塚川

新庁舎建設基礎杭に地中熱の利用を

【答】導入は経済的に有利

【質問】

新たな環境保全計画策定と聞いている。庁舎基本計画で、太陽光や地中熱など有効活用が示された。

地中熱は、地表から地下150mの間にある熱

で、温度は約15℃、冷

暖房や給湯に利用、電力消費量46%削減、CO₂の発生量は50%削減可能。担当課の見解は。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

方針で、「環境負荷を低減し、長寿命化に配慮

した庁舎」を目指す事としており、年間を通じて安定した地中温度を利用、エネルギー消費を抑えCO₂削減に有効。設計段階で環境負荷低減の責務と費用対効果の点に配慮し検討していく。

【質問】

熱利用の国の補助額は、事業化策定で、定額1千万円を上限、設備導入支援で、補助率で2/3の補助金がある。8〜10年で償却のデータもある。計画では、約30mの基礎杭施行予定との事。杭の活用を積極的に取り組むべき。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

補助制度の情報収集に努める。建設予定は基礎杭の予定で利用導入は経済的に有利と想定している。

【質問】

公共施設として、各施設がある。地中熱利用は、省エネルギー性・省CO₂性・天候に左右されない安定性・何処でも利用可能・ヒートアイランド抑制効果がある。町長の見解は。
【答弁(町長)】
再生可能エネルギーの導入は第5次まちづくり総合計画で積極的に推進するとしている。環境保



原田周一
議員

全計画に於いても温室効果ガスの削減の数値目標を設定。設置費用の低減

等確認しながら検討したい。

在宅医療系廃棄物のマニュアル作成を

【答】構成市町と情報共有し取り組んでいく



在宅医療系廃棄物

【質問】

在宅医療系廃棄物はゴミ出し当事者のみならず、収集運搬に関わる方を含め、正確な情報と知識が必要。在宅療法の件数は高齢化と共に年々増加。

【答弁(建設環境課長)】

昨年十月発行した「ごみの出し方ハンドブック」で、Q&A方式で注意喚起を行った。城南衛生管理組合と構成市町で課題に取り組んでいる。又、職員に対しては毎月の会議で安全管理に留意するよう徹底する。



新庁舎建設予定地

小中一貫教育施設の進捗は

【答】施設は一体型・隣接型にする

【質問】

議会の同意を得て町長が任命した教育委員会

が、小中一貫教育の観点から、現在の2小学校・

1中学校の施設について

将来は「一体型もしくは隣接型が望ましい」とま

とめをされたが、町長としてどのように考えているか。

【答弁(町長)】

教育委員会がまとめられたことについて、尊重させていただく。引き続き教育委員会において学

校運営や教育制度等の検討に取り組んでいただきたい。町長部局においても、「まちづくりの観点」から、課題整理を行って

【質問】

本年2月に教育委員会

から答申があつて以降、

十分な時間があつたのか。

この件について協議・調整できる期間は、

昨年9月から本年3月まで

6ヶ月間あったのではない

か。教育施設



馬場 哉 議員

について方向性を示す3月議会最終日までに、町

長が示したとおり、教育現場の課題、住民の方々

のご理解、まちづくりの観点からの課題、通学手段等の課題、そして財政

面での課題を町幹部がシミュレーションするよう

に町長は、担当部長に指示しなければならぬ。

政策は、職員すべてが共有し、実施時期を町民に

示すべきものであると考える。「小中一貫教育施設」の課題整理と協議状

況は、残念だが、スピード感がなく、実行力もな

い。

子どもの育みの環境、



総合教育会議の様子

教育施設等を整えること

は、将来の宇治田原町を想う時「人口減少対策、

移住・定住推進」の、一丁目一番地であると考え、誰もが「宇治田原の

学校に通わせたい」と思うように、今後は住民の方々のご意見も伺いなが

ら、部局間での協議を、加速すべきである。

【答弁(副町長)】

まだまだ、協議しなければいけない課題もあることから、更に掘り下げて議論していく。長い歴史と伝統のある学校ゆえに、住民誰もが、行ってみたい、行かせたいと思える学校となるよう、担当部局が英知を結集する中で、まとめてまいりたい。

ソーシャルイノベーション宇治田原代表

やま もと まさ ふみ

山本理文さん

岩山の自宅はなれの製茶小屋を改装し農家民宿「MARU+JYU (マルジュウ)」開業。
“観光まちづくり”への想いを、インタビューしました。



Q. なぜ農家民宿を開業されましたか。

A. 京町屋を改装して、外国人向けのゲストハウスを開業する友人の、手伝いをしました。ビジネスモデルとして今後も、成長していく業種であると感じました。



お茶の京都で知事と

Q. 宇治田原でオープンさせた「農家民宿（農業体験型宿泊施設）」その構想は。

A. もともと農家であったので現在でも、農地を所有しています。外国人観光客は、京都・奈良の有名スポットを巡る目的の他に、日本文化を体感したいと思っています。茶文化が根付くこの町で、お茶摘みや、茶道などが体験できることを強みにして、今後も事業展開をしていきたいです。付加価値の高い食体験や、日本ならではの建築物を見て回るなど、観光で提供できるものを増やしていきたいと考えています。

Q. 宿泊された方の感想は。

A. 土壁や黒谷和紙を使った照明器具など農家小屋を、再生した宿泊施設に驚かれます。大きな窓から見える田園風景や、鳥の鳴く声に、「ゆったりとした時間が過ごせた」との、感想を頂戴しました。

Q. 宇治田原町が進める「観光まちづくり」への想いは。

A. まちの資源を活かし、宇治田原に来てもらうには、アクセスだけでなく、人が中心となって活性化すべきと考えています。若い人が、いまある資源（空き家）を活用して、カフェやレストランを開業すると活性化につながると思います。宗円生家のライトアップが、喜んでいただけのように、あるものを効果的に活用する策を、まちの人と連携してすすめていきたいです。



観光ワークショップ



みごろのひまわり畑 (糠塚地域)



山本農林水産大臣お茶の木を植樹(宗円生家)



次回議会の予定
〈9月定例会〉
9月4日(月)開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします



おでかけ広場 (みんなの家)

今号の表紙

夏はやっぱりプールです。町立保育所では、屋上のプールで子どもたちが気持ちよさそうに、水遊びをしていました。

編集後記

6月定例会も全議案を可決・同意し、終えることができました。

さて、夏休みも中盤にさしかかり、子供たちは毎日プールで遊び楽しく過ごしていることと思います。

「お茶の京都」ターゲットイヤアの今年、議会としても皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思っております。

まだまだ猛暑が続いています。熱中症や夏風邪等には気を付けてお過ごしください。

本誌へのご意見、ご感想をお寄せください。

広報編集委員 山本